

表1 単純なモデルを使用して比較したITT解析と廣田法による解析結果の違い

データ	方法	割付群	異常行動発症人数(分子)				対象者数(分母)		異常行動発症割合(%)	オッズ比
			受診前	受診後 服用前*	服用後 **	合計	当初	計算後		
A 一次予備解析	ITT解析A	タミフル処方群	3	2	5	10	100	100	10.0	1.00
		タミフル非処方群(他薬剤処方群)	3	2	5	10	100	100	10.0	
		合計	6	4	10	20	200	200	10.0	
	廣田法A	タミフル服用群	3	2	5	5	100	95	5.3	0.33
		タミフル非服用群(他薬剤処方群+X)	3	2	5	15	100	105	14.3	
		合計	6	4	10	20	200	200	10.0	
B. 中間報告	ITT解析B	タミフル処方群	3	2	5	7	100	97	7.2	1.00
		タミフル非処方群(他薬剤処方群)	3	2	5	7	100	97	7.2	
		合計	6	4	10	14	200	194	7.2	
	廣田法B	タミフル服用群	3	2	5	5	100	95	5.3	0.56
		タミフル非服用群(他薬剤処方群+X)	3	2	5	9	100	99	9.1	
		合計	6	4	10	14	200	194	7.2	
C.服用後に限る場合の望ましい方法	タミフル服用群	3	2	5	5	100	95	5.3	1.00	
	タミフル非服用群(他薬剤服用群)	3	2	5	5	100	95	5.3		
	合計	6	4	10	10	200	190	5.3		
D. 一部に提案されている方法	タミフル服用群	3	2	5	5	100	95	5.3	0.71	
	タミフル非服用群(他薬剤服用群)?	3	2	5	7	100	97	7.2		
	合計	6	4	10	12	200	192	6.3		